2009CLUB CAMNETEVENT

CAMNET祭/銀河鉄道の夜★始末記

実行委員長/大西貴也（岡山大学４回生）

よく聞く「楽しい時間は早く過ぎる」という法則が成り立っているならば，あの時はとてつもなく楽しかったに違いない．スタッフで円陣を組み，「楽しんでいこう！おー！」という掛け声とともにイベントは始まった．そして終わっていた．頑張っていこうと言った次の瞬間にもうお疲れ様の挨拶をしている不思議な感覚．それほどにあの日の時間は早く過ぎた．ただ，その一瞬の時間のいろんな事を鮮明に思い返す事ができる．何がなんだか全然分からない早さで変わっていくスライドショーを後から一枚一枚じっくり見直す．そんな感じで．始まりの挨拶．前の晩，寝る前に「もう目の前には楽しいことしか待っていない」というフレーズが頭に浮かんだ．自分の中で気に入ったその言葉を参加者の前で大きな声で言ったが，あまり聞いていなかった．おかしい．寝る前の想像ではあの人がyes we canって言った時の反応みたいになってたのに．スポーツ大会.黄色いタイツを着て司会進行をした．その奇抜な服装に誰も突っ込まないままどんどん進んでいく．進行しながら「あれ？みんな，もともとこういう姿やと思ってんのかな？」という錯覚に陥ることもあった．

OHBによるオープンDJ．誰も居ない時に何回も呼ばれた．誰も居ない時に何回も芸をやれと言われた．そう，誰も居ない時に．なんで参加者がいる前では出してくれなかったのか？そんなに僕の声を届けるのはいやだったのか？誰も居ない時に「ボケて．」のフリップを隠れて出している意味が分からなかった．

リンクアップschool of lifeではいろんなジャンルのアーティストが登場した．見たこともない楽器で癒しの音楽を届けてくれた喜楽童Toshi&七海さん．印象的だったのは七海さんの持つ不思議な空間．お上品だけど,それでいて堅苦しくない．喋っていると心地よい気分になった．アン・イールのライブではあまりにも楽しくて一緒にステージに立ってしまった．ライブが終わった時，僕は完全にアン・イールの一員になっていた．「みんな今日は来てくれてありがとう！」そんな訳が分からない言葉をずっと叫ぶ俺．そんな俺を胴上げする観客．アン・イールも何も分からない僕にアイコンタクトなんかとっちゃってる始末．うん，楽しかったらなんでもええんや♪shabonさんの歌声にはビックリした．聞き入ってしまって，口がずっと開いている．その時初めて，聞き入った時は口を開けてしまうというという癖を知った．「この人は本当に偉い人なのか？」そう疑ってしまうぐらいに気さくでおもしろい大槻教授のライブは医大の教授とは思えない歌声を披露してくれた．今度会ったらもう一度教授なのか確かめたい．そして，僕たちリンクアップとラフシンクのお笑いライブ．出囃子と共に出て行った時に思った．「人がいない…．」同時進行で肝試しをやっていたため,参加者がそこに流れたのだ．このライブの名前はなんだったけ？リンクアップのschool of life．リンクアップの．リンクアップの！そのリンクアップが出てんねんで！心の訴え虚しく，参加者のほとんどは肝試しで男女の距離を縮めることに勤しんでいた．ただ，ここはプラス思考に「みんなが肝試しに行っている中来てくれているこの観客は本当に僕たちが好きな人なんや．」と考えることにした．結果，ちょっと広く感じたスクラムホールでのお笑いライブはめちゃくちゃ盛り上がった．あ～あ～みんな来とけばよかったのに～．まだまだたくさんのスライドが残ってるが，これを全部紹介していたらきりが無いので，この辺で終わりにしておく．イベントが終わった後の参加者の笑顔や，楽しかったという声を聞く限り，このイベントは大成功したと実感している．来年もきっとキャムネット祭は開催されると思うので，また多くの人に楽しんでもらいたい．

最後に，出演してくださったアーティストの方々，スタッフ，その他ブースなどでご協力してくれたみなさん本当にありがとうございました．